

3000 万署名成功のための第 2 回交流会 in 生駒

2018-04-15 溝川悠介

1. 奈良市民連合の取組

・奈良市民連合も当面の最重要課題として**安倍 9 条改憲 NO!** 憲法を生かす全国統一署名にとりくんでいます。昨年 11 月から毎月 19 日には 6 時から JR 奈良駅前では 3000 万署名宣伝行動を行っています。この取り組みの中で戦争をさせない奈良 1000 人委員会と憲法九条守れ！奈良県共同センターと 9 条の会奈良県ネット、繋ぎ結ぶママ達の会などの共同行動が進んでいます。

・一般紙意見広告&意見広告ポスター（4 月 27 日付の毎日新聞） 賛同人募集の取組

登録目標：個人 1000 人、団体 100 4 / 9 現在個人：500 人超、団体：80 団体⇒最終は 4/13（金）

生駒共同センターはいち早く呼びかけ（3 月 23 日）、最終的に 135 名（非公表 5 名）、7 団体の登録があり、全県の牽引車となった。

・全県的到達状況（4/9 現在）は 5 万筆 25%（新婦人 8.3、奈労連 1.9、奈商連 2.0、平和委員会 1.6、共産党 16.3、民医連 7.6、生駒共同センター 4.9、9 条奈良 7.0 千筆など）

・行事 5 月 6 日憲法講座 奈良市民連合（1000 人委員会、共同センター、9 条の会、

5 月 29 日 木村草太講演会 奈良弁護士会

1	生駒革新懇
2	憲法改悪許さない生駒共同センター
3	原発ゼロへ・生駒の会
4	生駒台小学校区平和や憲法を考える会
5	憲法 9 条の会・生駒
6	生駒南第二小校区 9 条の会
7	奈良県生活と健康を守る会連合会

2. 3000 万署名の取組 - 私の経験 -

11 月の第 1 回交流会で教え子や知人に手紙で訴え署名を広めておられる T さん、I さん、M さんなどの経験に刺激されて、私も正月明けに年賀状を交換している知人や学生に思い切って手紙を書きました（裏面参照）。250 名ほどの年賀状交換者のうち 85 名を選び、返信用封筒・切手も貼り送りました。毎年の年賀状には、平和や革新の足跡を写真にして送っているので、私たち夫婦の考え方や活動についてもある程度わかっている人たちです。内容は、「戦争はいやだ」の気持ちを自分のことばで訴えられるように、戦前「侵略戦争反対」を訴え弾圧された父のことを初めて明かして訴えました。その結果、85 名中 38 名（45%）から返事を頂きました。うち 3 名は「申し訳ないけど賛同できない」といって切手を同封して返ってきました。集まった署名数は現在 247 筆です。

内訳は、下の表。

筆数	1	2	3	4	5	10	15	111
人数	2	10	1	4	12	2	1	1

教訓：①差し出した相手の顔を思い浮かべてみると、50 人ぐらいからは協力してもらえなかった。返事のない人もき

っと真剣に考えた末、パスしたものと思います。返事のない人に気持ちの負担を負わせたのではないかと申し訳ない思いもあります。別の機会に理由を聞いてみたい。②夫婦二人や少し時間をかけて 5 筆を埋めてくれた人も多かった。5 筆を埋めようとして時間がかりパスしてしまった人もいそうである。

③ある教授は「お父上の記事はインパクトがありました。他人事ではないと思われた方が多かったと思います」と返信してくださり、30 筆も集めてくれました。続いて 61 筆、第 3 弾で 20 筆と計 111 筆も広めてくれたのには本当に感激しました。第 2 弾では「私の周りの奥さんの仲間（音楽など）が大いに働いて署名を集めてくれました。奥さんたちのパワーはすごいと思います」。奥さんにはお会いしたことはありませんが、本当にすごい、趣味などの日頃のつながりの大切さを痛感します。私達の方が壁を作っているのかな？

④ 100 歳の女性 Y さんは、二十代半ばで陸軍少尉・特攻隊長として戦場に赴かれた弟さんの手記（遺書）の抜書きを寄せてくださいました。「ビルマ、北支、中支の兄よ、兄上よ、この度俺は特攻隊、戦車撃滅、その隊長、笑って散って逝くけれど、後に残りし老いし母、頼むぞ兄上、いざさらば」。男兄弟 4 人とも青春を戦争に奪われた Y さんは、「戦争！！殺し合い。何と悲惨な事か。若い男性が青春時代を楽しむ事なく、また小さい子どもを残して、多くの男性が戦死して、帰らぬ人となった。軍国主義教育で、国のために死ぬことが名誉とされていた」と書き、署名 15 筆も添えて返事をくださいました。

⑤ 中学時代の友人は昨年他界されていて、ご主人から「わたしは活動はできていませんが、反戦と憲法と福祉にはできる限りの責任と義務を果たさねばならないと、思っています。妻への永年のご友誼、誠にありがとうございました」と 5 筆を埋めて送ってくださいました。

⑥最近年賀状のやり取りが始まったクリスチャンの中学時代の知人は「50 年前第 1 回青年の船でアジアを回り、印象深かったのは戦争の傷跡でした。どの国でも友好の船として歓迎されましたが、最後の寄港地沖縄では戦後は終わっていないと痛感させられました。今の方が哀しみは深まっているのかもしれない。戦争はダメです」としたため、10 筆送っていただきました。

今回の手紙による訴えは、それぞれの人の意外な戦争や平和への思いも知ることが出来、大変貴重な経験でした。さらに訴えられる人はいないか、探しているところです。

